

# 迎春

## ◆ 新たな飛躍の年に



播磨町長

清水ひろ子

新年 明けましておめでとうございます。本年も皆さまにとって、希望に満ちたよきお年でありますよう お祈り申し上げます。

社会全般では一昨年来の不況はいまだ大きく好転する兆しもなく、今年も多くの課題を抱えた厳しい年明けでございます。国、県、のみならず各自治体においてもよりいっそうの改革が求められる時代となっております。播磨町におきましては実質公債費比率3.5、将来負担比率マイナスという県下でも健全化率トップを誇る財政状況に甘んじることなく、体力がある間にさらに行財政改革を進め、将来に向けて安定した自治体運営を行っていきたくと思っております。

さらに、今年から新たに誕生する医療機関や東部地域での大規模な宅地開発など、将来への大きな夢と可能性を抱いての年頭でもあります。今後10年間播磨町の指針となる「第4次播磨町総合計画」も昨年多くの皆さまを対象とした調査や意見交換にもとづいて策定いたしました。住民の方々の願いを込めた「総合計画」開始の年であり、播磨町の新たな「未来」へのスタートです。うさぎ年という名にふさわしく大きく飛躍する年でありたいと願っております。

## ◆ 住民と協働のまちづくりを



播磨町議会議長

杉原 延享

新年 明けましておめでとうございます。今年こそは、経済の回復、雇用の充実等々…。国民生活にとって、豊かになりますようにと願いを込めての船出であります。

政府においても一刻も早い立て直しに、その対策は講じているものの実効はあからず国民生活はますます困窮の度は強く、深刻であります。

地方自治体におきましても住民生活に直結した福祉、医療、安全・安心、商工、環境、教育等々の充実が喫緊の課題です。

現政権下では「地方分権」から「地域主権」と言葉は変わっても、地域が主導の「まちづくり」には変わりありません。

これら行政課題の解決には、住民の皆さまと共に汗をかきながらの「協働・参画」がなければなりません。議会としても12月定例会で「議会基本条例」が成立しました。少し堅苦しい名称かも知れませんが、議会だけのものではありません。住民と協働のまちづくりを推進する基本的な条例です。

皆さまと協働して、将来に向かって悔いのないまちづくりをしようではありませんか。

新しい年が皆さまにとってご多幸の年であることを祈念申し上げ、年頭のご挨拶いたします。

あけまして  
おめでとう  
ございます

議長

杉原 延享

副議長

毛利 豊

議員（議席順）

勝 樂 恒 美  
福 原 隆 泰  
松 本 か かり  
河 野 照 代  
渡 辺 文 子  
田 中 久 子  
中 西 美 保 子  
河 南 博  
宮 尾 尚 子  
古 川 美 智 子  
岡 田 千 賀 子  
小 原 健 一  
藤 原 秀 策  
藤 田 博  
永 谷 修  
小 西 茂 行



公職選挙法により、政治家は、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。

ご理解とご協力をお願いいたします。